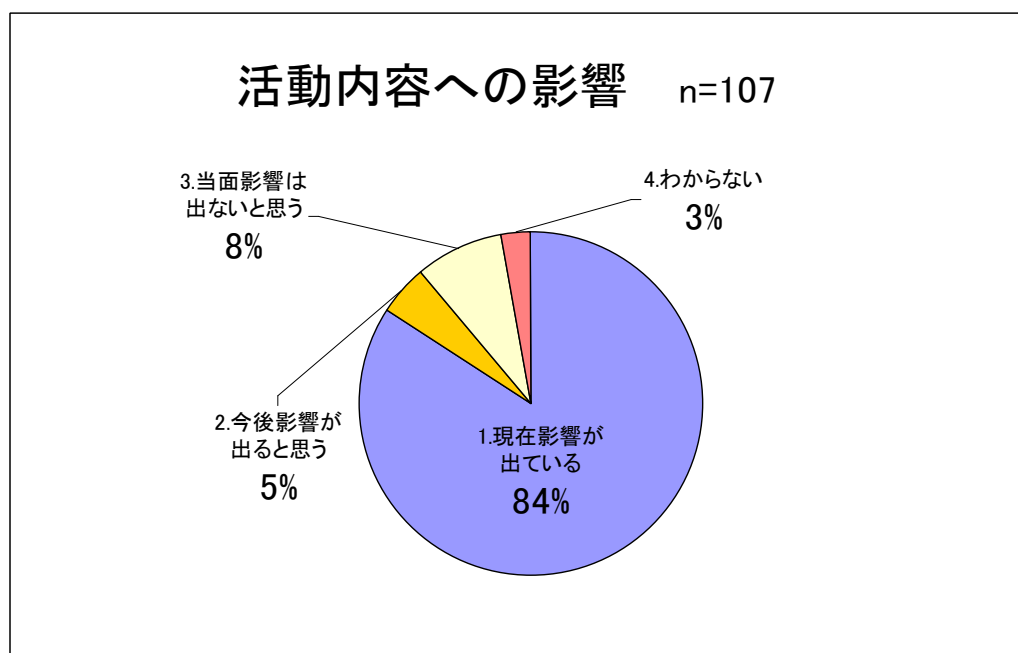


【各設問について】

各設問に対する回答は以下のとおり。

1. 新型コロナウイルス感染拡大により、「活動内容」に影響が出ていますか。

1. 現在影響が出ている	90
2. 今後影響が出ると思う	5
3. 当面影響は出ないと思う	9
4. わからない	3
計	107



概要

- ★現在影響が出ている団体は全体の84%、今後影響が出ると予想する団体を含めると、ほぼ9割の団体が活動に関して何かしらの影響を感じている。
- ★「活動場所がない」「マスクや消毒液などの感染防止グッズがない」などの理由から、事業や活動ができない事態が多く生じていることが伺える。
- ★また、事業や活動の延期・中止などにより、収益が減少した団体も多い。
- ★具体的な活動や財源の減少に限らず、感染やその防止をめぐる情報の不足などから抱かれる「不安」が、活動の萎縮や関係者の疲労につながるという声も複数あった。

**上記設問で「1. 現在影響が出ている」を選択された方にお尋ねします。
具体的な影響の内容について教えてください。（抜粋）**

○事業活動ができない

- ・参加者がキャンセルになる。空間確保のため、部屋を大きくする必要がある。密着活動が困難になり、プログラムを変更せざるを得ない。衛生担当者を配置し、開催前の体温測定、問診による健康チェックを行うなど、いつもとはかなり配慮する内容が増えている。
調理関係の活動は中止。施設が閉鎖のため、会議室の手配に影響が出る。事前連絡の項目が煩雑になる。マスク、アルコール消毒液が全くない。
- ・講座や会議が開催できない。利用者の減少。消毒液マスク等手に入りにくい。
- ・各種イベントの中止が相次ぎ、フードドライブの開催ができなくなった。
- ・派遣が取りやめになった。体験講座・総会案内・講座案内の印刷や、会場が使用できない。
- ・山口市委託により活動しているため、3月は毎週行っている子ども達への学習会・居場所活動が中止となった。こども食堂も自粛している。

○事業収益が減った

- ・事業が開催できず、参加費収入がなくなる
- ・指定管理の施設のキャンセルによる収入減、委託事業である留守家庭児童学級での学校閉鎖による業務過多
- ・イベントの為に準備していたポスター等が無駄になった
- ・管理施設の室内使用が制限され、屋外スポーツ施設は行事の中止により使用料収入が減少。
昼食弁当ケータリングサービスは、行事の中止によるキャンセルが起きている。スクールバスの運行が休業、または減便となり、運転手は収入が減っている。
- ・3月開催のセミナーが中止になったが、業者への支払はそのまま発生している。新型コロナ感染を危惧し休む利用者の方も多い。

○活動する場所がない

- ・活動する施設などが使用中止の為、会合などができない
- ・公共施設に機材を置かせてもらっているため、機材の出し入れが不自由。
- ・開催提供場所が休館時期あり。役員間の集会の自粛。参加研修の延期。座談会・交流会の発信が予定できない。
- ・三密を避けられる環境が保てない為、活動自粛している。
- ・①事務所：山口市施設に準じて休館。
②対外的な活動：3月の主催活動は全面中止。4月以降の主催活動も中止または延期の検討に入っている。
③団体運営活動：会議・総会・フィールド活動等は中止。団体の総会は、書面議決にて表決を取ることに変更した。

○総会が開けない

- ・ 会合など、あつまりをもてない。
- ・ メンバーとの協議ができない。
- ・ 月例の難病カフェ事業が中止になっている。総会を開催する予定が立たないので、新年度の事業を審議・決定することもできない。
- ・ 役員会、理事会などは Web 会議にて行うが、例会や事業などは自粛せざるを得ない状況。
- ・ 総会の中止（まだ予定）による事務処理や経費
- ・ 東京側スタッフが山口に出向いてこれなくなっています。また今年度の自主イベントやツアーに関する打合せ等がすべて中止になっています。

○休校の影響

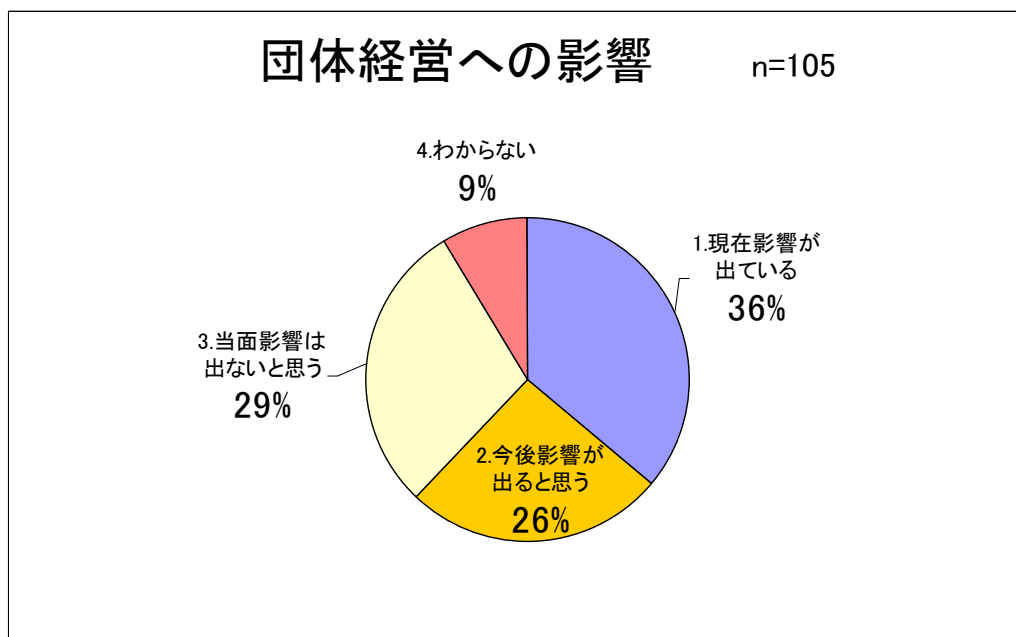
- ・ 学校の休業に伴う開設時間の変更。それによる、人員の確保等。
- ・ 当方は、児童館や学童保育事業を委託・受託しています。学校が休業の折、常に学童保育が活用されます。そのたびに開設、そして、支援員の割り振りが大変です。
- ・ 子どもの格差防止に向けての学習会、居場所の中止。子ども食堂の中止。
- ・ 子どもたちや親（保護者）が対象の行事をとりやめた。
- ・ 平日においては、本来は午後からの営業であったところが、学校の臨時休業により、午前から行うことになった。

○会員、ボランティア、職員に関する不安

- ・ 東京出張などのあった会員の活動自粛
- ・ 障がいの特性でニュースなどから入る情報で不安拡大になったり、野外活動が制限されたりすると利用ができないお子さんがいる。最新の注意を図るための職員の精神的疲労や衛生面の在庫チェック。
- ・ 子育て中の職員への勤務時間配慮により、社会保険加入条件を越えた他職員の勤務超過。
- ・ 勤務している職員の家族が、緊急事態宣言地域への移動等あるものは感染リスクが高くなることから勤務を控えるようになるため、保育士の確保が難しくなっている。今後は更に影響が出ると予測。
- ・ 感染者情報開示不足による濃厚接触者に該当するかもしれない職員の特定困難。
- ・ 高齢者事業の為、感染者情報開示不足による恐怖。

2. 新型コロナウイルスの感染拡大により、「団体経営」に影響が出ていますか。

1. 現在影響が出ている	38
2. 今後影響が出ると思う	27
3. 当面影響は出ないと思う	31
4. わからない	9
計	105



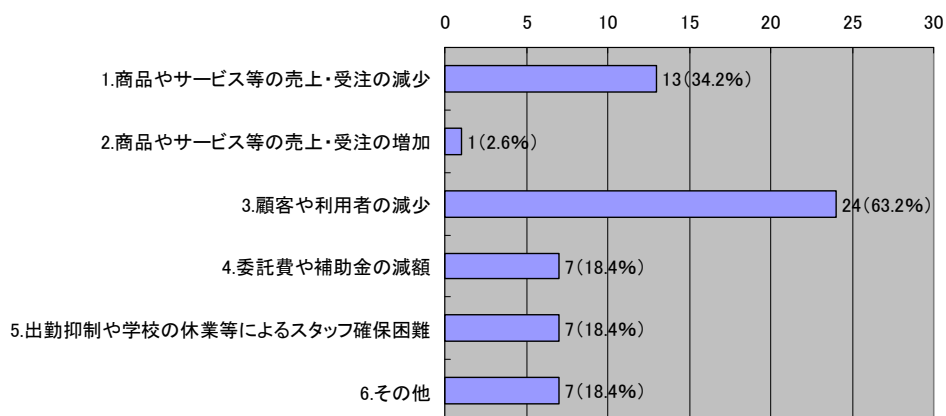
概要

- ★現在影響が出ている団体は全体の36%、今後影響が出ると予想する団体を含めると、概ね6割の団体が組織の経営に関して何かしらの影響を感じている。
- ★具体的には、設問1の回答でも見受けられたように、事業をめぐる「顧客や利用者の減少」を挙げる声が多かった。
- ★また、次いで「商品やサービス等の売上・受注の減少」を挙げる声が多く、合わせて「委託費や補助金の減額」「出勤抑制や学校の休業等によるスタッフ確保困難」が生じた現場も一定程度あるように伺える。
- ★上記のような経営上の影響を感じた団体においては、今般の影響により生じた被害の見込み額は、以下のような状況であった。
 - ・平均 : 810,638円 程度
 - ・合計 : 17,023,400円 程度
 - ・最大額 : 5,000,000円
- ★被害が見込まれる団体のうち、被害額が「100万円以上」見込まれるのは、約3割に及んだ。

上記設問で「1. 現在影響が出ている」を選択された方にお尋ねします。
具体的な影響の内容について教えてください。（複数選択可）

1. 商品やサービス等の売上・受注の減少	13
2. 商品やサービス等の売上・受注の増加	1
3. 顧客や利用者の減少	24
4. 委託費や補助金の減額	7
5. 出勤抑制や学校の休業等によるスタッフ確保困難	7
6. その他	7
計	59

具体的な影響 n=38



上記設問で「1・3・4」を選択された方にお尋ねします。
被害により減少した売り上げ見込み等の金額をお教えてください。

<調査対象期間中（2020年2月～3月）の被害額について>

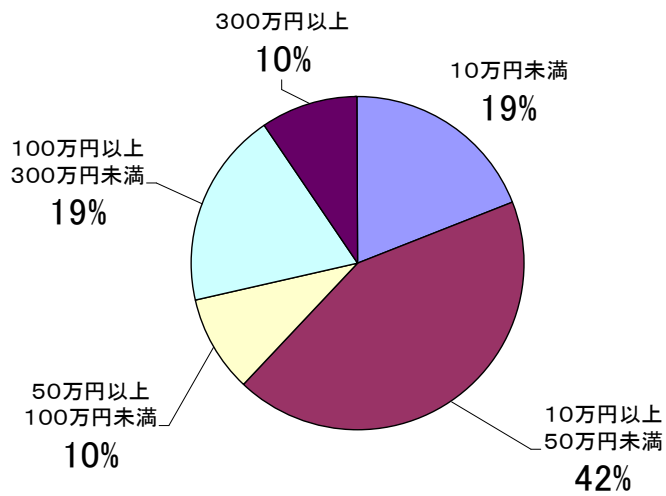
具体的な金額をご回答いただいた 法人について事務局にて集計

※1ヶ月あたりの金額を回答した団体については、2倍の数字を用いる。

※「x円～y円」と幅を持たせた回答については、より大きな値を用いる。

最大値	5,000,000円
最小値	10,000円
合計額	17,023,400円
平均値	810,638円

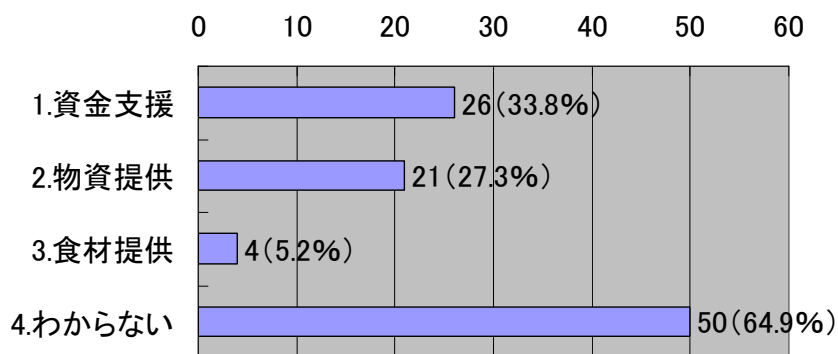
2～3月の被害額 n=21



3. 必要な支援策について、当てはまるものを選択してください。 (複数選択可)

1. 資金支援	26
2. 物資提供	21
3. 食材提供	4
4. わからない	50
計	101

必要な支援策 n=77



概要

- ★事業を中止した、または今後の事業ができないことをめぐる「金銭的な手当（助成、補助など）」を求める声が多数。
- ★各活動現場での安全面を担保するため「グッズ（マスク、消毒液など）」を求める声が多く寄せられた。
- ★上記グッズに限らず、「食品・食材」を求める声も複数あった。
- ★その他、上記のような手当や支援が実施できる「しくみや制度」、またはそれらの支援がどのように活用できるかわかりやすく把握できる「情報提供」のサービスや「人的支援」などの必要性も指摘されていた。

必要な支援策について、具体的な内容をお教えてください。（抜粋）

○マスク、アルコールなどのグッズ

- ・マスク、アルコール消毒液（入れ物含む）
- ・次亜塩素水
- ・消毒液の確保、体温計
- ・衛生用品等、必要な物品の提供

○その他の物的支援

- ・子どもたちへの学習会、居場中止に伴う宅食サービスの食材
- ・休校中に開催している少人数（１０人程度）でのお勉強会でのお昼ごはんの提供
- ・企業からの物資提供
- ・物流がとまることが万が一あれば、大量のフードの調達に不自由が生じるかもしれない。

○金銭的な補償、融資、助成金など

- ・無利子貸付け、返済期限延期
- ・中止になったイベントでの見込み収益に対して、少しでも支援して欲しい
- ・減収分の補償
- ・支払いが発生しているが、NP0での融資には理事会開催が必要であり、時間がないため、個人での銀行融資を行った。しかしまだ損失が多く、人件費の支払ができないため、雇用関係の助成を受けたい。
- ・コロナウイルスの影響で予定されていた行事が中止された場合や、活動ができなかった場合、補助金や助成金の精算時に配慮してほしい。
- ・活動支援補助金（実地の活動が停止していてもホームページなどを充実させて情報提供するための資金）

○制度、サービス

- ・契約や補償などに関する法的支援が必要。また、支援策などの情報提供も必要。
- ・コロナウイルスに関する各センターの対応の共有

- ・支援は必要ない。資金や物資支援で活動を持続することはできない。
活動環境を維持、整備するための人的支援が必要になるかも。
- ・先日の運営委員会で小耳にはさんだ「ZOOM」の具体的な利用方法や留意点などについての講習会の開催または情報の提供（既に開催されたのかもしれませんが）

○その他

- ・まだわかりません。
- ・収入が確保できない以上、両者の最低賃金さが下がるなどの許可が欲しい。借金は返さねばならない。
- ・他県に較べると比較的被害は少ないのが幸いです。給食材料や行事等に使われる予定の材料が無駄になっているニュースをよく見ます。私達のように開所を余儀なくされている場所には必要かもしれません。情報を投げかけていただければ協力できることもあると思います。
- ・特になし

4. その他、貴団体の活動分野における新型コロナウイルスの感染拡大に伴う懸念をお教えてください。（抜粋）

○事業活動ができない

- ・活動することによって感染拡大の原因になりはしないか
- ・心身に育ちにくさのある子どもたちの保護者の会であるため、感染が命の危険につながる可能性が高いことへの不安。
- ・室内のイベントのみならず、屋外でも不特定多数が集まるイベントが自粛となると、ほとんどのなにもできない。
- ・決算に伴う通常総会等の各種会議の自粛
- ・居場所活動は、こども達も楽しみにしているので開催すれば人が集まる事になるのですが、人との接触を避けることは困難なため、マスクや消毒液などを準備しておかなければいけないが、入手ができないので長期戦になると活動も危ぶまれる。

○会員のモチベーション

- ・活動が制限されることに伴う会員の関心度が低下しないか
- ・①活動に携わる会員の活動機会の喪失（活動意欲の低下）
②活動に関わる人の健康状態の把握（個人情報取り扱い）
③感染防止対策の徹底（現時点では明確なガイドラインがない）
④市内外の交流を促すような大きな活動ができない
⑤積極的な広報ができない

○景気

- ・まちに活気が無くなる
- ・飲食店や観光地の経営状態。
- ・イベント、会合など人と人との交流が停滞し、地域の発展を疎外する。

地域活性化の事業プログラムの実行が遅れる。

- ・感染拡大対策による国民の外出自粛は、当地域に限らず、交通、宿泊、飲料業の消費額を減退させ、心理的な閉じこもり型消費行動に向かう。

つまり、生活必需消耗品、非常食料品の購買、子どもの学費・生活費が家計の重点となる。

- ・弊社は地域交流サービスを主とするNPO法人の立場から、地区民が安全に暮らして行ける環境を手伝うため、法人活動に新型コロナウイルスの影響はあっても、収入減少にたいする資金的支援を求めるつもりはない。但し、関係職員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合、ほとんどの職員が濃厚接触者となり法人活動が休止となる。このような事態が起こるとサービス停止を受ける対象者の生活に支障が起こるため、この方々への交通移動支援、食事支援を国家に求めることになる。

○見通しが立たない

- ・感染者が見えないために、サービス利用の制限をどのように判断したらよいのかわからない
- ・終息が見えないのでどこまで我慢をして活動自粛をしたらいいのかわからない
- ・いつまで自粛が続くのか。行事（多くの人が集まること）をいつ再開できるのか。
- ・2020年度の活動計画が立てられない。（いつからOKなのか）
- ・公演そのものが「密」を伴うので、どの段階で通常活動に戻れるか。

○感染に関すること

- ・確実な情報を段階的に踏まえて提示していただきたいです。「密」はだめといわれても、学童や保育園、私達のように障がいのお子様を預かる事業所では、外遊びもできず、室内では距離の取りようがないままの預かりです。「不安」しかありません。保護者も学校の終わりがなかったのに始めはあるの？など？？？ばかりです。国に頼らず、行政や学校がきちんとした方針を打ち出し、保護者への説明をしていただきたいです。
- ・国が推奨されている事全て実施する。職業が医療従事者のため、感染拡大防止に努めている。
- ・子ども（保護者 学校など）に関わる活動なので、感性が落ち着くまで活動できない。今は、感染を拡大しない為、自粛して、できるだけ早く通常の状態に戻すことが最優先。
- ・不特定多数の人が訪れるセンター業務も受託しているので職員の感染がないか気になる。
- ・スタッフがそもそも健康人・健常者ではないので、最悪の場合は命にかかわる事態になるメンバーが出るかもしれない。中核メンバーが罹患したら法人が崩壊します。
- ・どこで誰が罹患しているかはわからない。媒体になるかもしれないため、施設内でスタッフの負担が大きい。この状況で休校中の子どもの動向を把握しないまま学校が開校されることが、更なる不安につながる。県域すべてから来所される施設としては、閉鎖せざるを得ない。

○助成事業ができない

- ・助成金事業の延期または中止
- ・計画している事業の中止により申請中の補助金が支給されない懸念
- ・今年度の受託業務を平常通りを想定した内容で契約している（県との契約2件）。契約通りに実施できないことが想定されるが、契約書には実施内容変更のための手続きやコスト、業務縮小に伴う補償の有無を書くかどうかなど、県としての方針がわからない。また影響が今年度だけで済むのか。

○収益減

- ・ 5 月以降、企画イベント中止となった場合の経費および収益減少、施設閉館による貸館使用客減少による収入減少
- ・ ギャラリー―展示会や子ども歴史教室、高校生授業、部活動の支援など一定数の参加者を予定する活動ができないと、主要活動が停止し、これが長引けば、活動を支える会員（会費）や寄附の減少も懸念される。
- ・ 一部事業の中止や延期のため、収益の見通しが立たず資金不足に陥るのではないかとということ。会員への十分なサービス提供ができなくなること。
- ・ 終息するまで会員の体力（資金等）がどこまでもつか
- ・ 休館が長引いた場合の職員への休業補償。
- ・ 傷害保険の適用がない。

○会員、ボランティアへの負担増

- ・ 学校休校措置明けの相談の急増など。
- ・ 受注施設内作業量の減少傾向

○今後の計画

- ・ 団体の目的である「防災」にウィルス対策も関連付けると、出水期を迎えるにあたってどう啓発や支援ができるのかを考えていかななくてはならない。
- ・ 中止による代替事業の企画。
- ・ 今後の収入減の継続による事業費全体への影響、イベント・講座開催などのあり方の変更
- ・ 密着した環境を作らないことへの対応に苦慮している。指導はマンツーマン指導となるので、対応方法を工夫する必要がある。
- ・ 当初活動計画がこのままでは、実行できないとおもわれる。

○感染した場合の対応

- ・ ①総会の開催方法の検討
- ・ ②もし、当法人で感染者が出た場合の不安と対応
- ・ 利用者、職員が感染した場合の事業所の休業
- ・ 介護職員が感染した場合の職員不足。他職員超過勤務。過労。
- ・ A 職員により B 職員が感染し、その親族が死亡した場合の補償。
- ・ A 職員により B 利用者が感染し、死亡した場合の裁判等。
- ・ 当園関係者内での感染による休園になった場合の対応あるいはスタッフ不足により運営が厳しくなるなど

○サービス停止による利用者への負担

- ・ 子どもたちやお母さん達と会う機会が少なくなるので、家庭内の状況把握が難しくなっています
- ・ 感染拡大による営業の停止。そのために発生する利用者さんの不便と収益の減少。
- ・ 70 歳以上の高齢者を対象にしているサロン風会食サービスですから、高齢者の感染を予防する

ため中止していますが、長期になると、高齢者が家に閉じこもっているのには、精神面・健康面に影響が及ぶので版と心配しています。

- ・弱者である会員や、支えていただいているヘルパーさんの健康状態が一番懸念される。
- ・利用できない方（親子）のストレス
- ・学校の休校の長期化やこども食堂の開催自粛による支援対象となるこどもの増加、収入の減少による生活困窮世帯の増加

＜以下、各設問における自由記載欄での全回答＞

①活動内容について「現在影響が出ている」を選択された方にお尋ねします。 具体的な影響の内容について教えてください。

○事業活動ができない

- ・参加者がキャンセルになる。空間確保のため、部屋の大きくする必要がある。密着活動が困難になり、プログラムを変更せざるを得ない。衛生担当者を配置し、開催前の体温測定、問診による健康チェックを行うなど、いつもとはかなり配慮する内容が増えている。調理関係の活動は中止。施設が閉鎖のため、会議室の手配に影響が出る。事前連絡の項目が煩雑になる。マスク、アルコール消毒液が全くない。
- ・マスク不足。
- ・講座や会議が開催できない。利用者の減少。消毒液マスク等手に入りにくい。
- ・活動・練習が出来ない。(4月からは練習再開見込み)
- ・セミナー等の開催が中止や延期になっている。出張が出来なくなっている。
- ・主催イベントを中止した（補助金を一部返還した）
- ・一部事業の中止や延期
- ・具体的事業が開催実施できない。いきいきサロン・カラオケサロン・健康体操・各種スポーツ・部会会合他
- ・各種イベントの中止が相次ぎ、フードドライブの開催ができなくなった。
- ・イベントが開催できない
- ・イベントの計画ができない。(計画中のイベントは無かった為、中止のお知らせ等の業務は発生していません)
- ・イベント開催自粛
- ・イベント開催が出来ない
- ・イベントの中止
- ・イベント等事業の中止
- ・イベントの中止や営業の自粛
- ・企画済イベントの中止、4月イベントの企画自粛
- ・主催イベントが、中止になったり、出店予定のイベントが、中止になったりしています
- ・4月5月の会主催のイベントが中止、総会・例会・研修会が中止
- ・ゲンジボタルの人工飼育中で、毎日、水質や水温、器具の点検をしているが、これらが出来ない。

- ・ 定例的な活動を含め、中止や延期となっている活動がある
- ・ 予定のイベントが開催できない
- ・ 参加者の募集を延期
- ・ 2月の茶話会を中止にしたため、今年度の茶話会開催回数が予定より減った。
- ・ 茶話会などの中止、不登校以外の子どもさんの受け入れ。
- ・ 4月スタートの茶話会活動を5月スタートにしたため、年間茶話会回数が減った。今後もしつ再開できるかわからない。
- ・ 第10回 認知症下関大会（参加者およそ500人）の中止
- ・ スポーツプログラムを中止している
- ・ 3~5月の活動を中止した
- ・ 派遣が取りやめになった。体験講座・総会案内・講座案内の印刷や、会場が使用できない。
- ・ 山口市委託により活動しているため、3月は毎週行っている子ども達への学習会・居場所活動が中止となった。こども食堂も自粛している。
- ・ 四月四日に予定していた活動が中止となった。今後も活動中止となる可能性がある。
- ・ 例年開催している4月11日実施予定の歴史ウオークを3月1日に中止を決定した。会員の集い（総会）も今年は実施を見合わせている。さらに年間では人の集まる事業がいくつもあるが、開催自粛になるでしょう。
- ・ 予定していた舞台公演や講演会、ワークショップ、集まりが全て中止となった。
- ・ 4月総会を9月に延期した。展示会等の主要活動を9月以降に延期した。
- ・ 3月から予定のイベントや会議を中止。今後も総会等の中止を予定。
- ・ 計画していたイベント、年次総会の延期
- ・ 3月と4月の活動を中止させています。
- ・ 本来事業：受託内容に掛かる業務・行事の変更および中止等 自主事業：活動・行事の変更および中止等
- ・ 野球教室の中止
- ・ アカデミー事業の自粛、バドミントン教室等、普及促進活動の自粛、各出場大会の中止
- ・ 保育園行事の縮小・延期・中止、日々の保育の中での活動内容の変更
- ・ 3月8日開催予定の『防府ユネスコ協会創立70周年記念式典』を延期した。
- ・ 主とした活動先が海外（タイ王国北タイ地域）のため渡航・滞在活動ができず事業に支障をきたす。
- ・ 夏の中学生のオーストラリア派遣中止。オーストラリアのハイスクール生徒の受け入れ中止。
- ・ 定期的な会合、伝統行事などが中止に追い込まれている。
- ・ 子ども・老人・外国人との交流を続けてきたが、目下中止状態。
- ・ 「介護予防のためのサロン」・定例会など会場が使えず中止。・子ども食堂は密集に当るので当分の間お休み。
- ・ 高齢者及び児童対象活動の自粛
- ・ 自宅も祖父母宅に待期し、利用が無くなっている利用者がおられる。

○事業収益が減った

- ・ 事業が開催できず、参加費収入がなくなる

- ・年1度の啓発イベントの中止・支援施設での利用者の減少・就労活動の売上げの減少
- ・土曜日の営業を自粛中による報酬の減少。支援の減少。
- ・閉館したり、行事を中止したりした。入館料収入が減った。
- ・萩博物館休館により、ショップ、レストランの売上げが大幅に減少。
- ・指定管理の施設のキャンセルによる収入減、委託事業である留守家庭児童学級での学校閉鎖による業務過多
- ・イベントの為に準備していたポスター等が無駄になった
- ・管理施設の室内使用が制限され、屋外スポーツ施設は行事の中止により使用料収入が減少。昼食弁当ケータリングサービスは、行事の中止によるキャンセルが起きている。スクールバスの運行が休業、または減便となり、運転手は収入が減っている。
- ・〇〇祭や××フェスタや△△といったイベント&行事が全て中止となっており、今まで出店し販売していたものが全て中止となり、大きく売上が落ちている。新規の販売予定先も全て中止。
- ・3月開催のセミナーが中止になったが、業者への支払はそのまま発生している。新型コロナウイルス感染を危惧し休む利用者の方も多。下松、光、周南方面から多く利用されているため、4月11日から5月6日まで、センターを閉鎖せざるを得なくなった。この間の収入はない状態。

○活動する場所がない

- ・開所措置 開所制限
- ・活動する施設などが使用中止の為、会合などができない
- ・公的会場が使用停止となっており、総会等の会議ができない。
- ・公共施設の自主規制で、スマホ入門講座の延期要請があり、次回開催指示待ち中。公共施設の自主規制で、パソコン相談会を中止している。
- ・公共施設に機材を置かせてもらっているため、機材の出し入れが不自由。
- ・センター閉館中のため、事業の停止（語学教室・子どもまつりなど）及び登録団体への支援の中断
- ・日頃、彦島公民館で毎週土曜日に研修室を借りて英語の授業をしていましたが、三月、急に四月も使用禁止となりました。5月10日迄使えませんので、先生達にも迷惑をかけています。
- ・青少年育成の団体で、人が集まる事で感染を広げてしまう可能性があるため、活動を自粛している状態。
- ・開催提供場所が休館時期あり。役員間の集会の自粛。参加研修の延期。座談会・交流会の発信が予定できない。
- ・3月から5月までの例会を中止している(県内各協会共通)、4月予定の総会延期
- ・三密を避けられる環境が保てない為、活動自粛している。
- ・スポーツセンターや会場の利用ができなくなった他、カラオケや会食も自粛しており、活動が制限されている。
- ・定例会など開けてない、自粛しています。
- ・①事務所：山口市施設に準じて3月27日まで休館。
- ・②対外的な活動：3月の主催活動は全面中止。4月以降の主催活動も中止または延期の検討に入っている。
- ・③団体運営活動：会議・総会・フィールド活動等は3月27日まで中止。団体の総会は、書面

議決にて表決を取ることに変更した。

- ・啓発掲示を昨年より行っているが、現在告知をしにくい状況であることに加え、感染拡大防止の意識により会場である図書館への来場者がほとんどいない。

○総会が開けない

- ・会合など、あつまりをもてない。
- ・メンバーとの協議ができない。
- ・総会ができるか、判らない。
- ・総会、例会中止 出前講座募集見送りなど活動出来ない状況です
- ・月例の難病カフェ事業が中止になっている。総会を開催する予定が立たないので、新年度の事業を審議・決定することもできない。
- ・役員会、理事会などはWeb会議にて行うが、例会や事業などは自粛せざるを得ない状況。
- ・総会の中止（まだ予定）による事務処理や経費
- ・東京側スタッフが山口に出向いてこられなくなっています。また今年度の自主イベントやツアーに関する打合せ等がすべて中止になっています。
- ・今年度の養成講座の受講生が集まるか不安。準備作業ができない。

○休校の影響

- ・学校の休業に伴う開設時間の変更。それによる、人員の確保等。
- ・当方は、児童館や学童保育事業を委託・受託しています。学校が休業の折、常に学童保育が活用されます。そのたびに開設、そして、支援員の割り振りが大変です。
- ・学校公演のキャンセルが出てきています。
- ・子どもの格差防止に向けての学習会、居場所の中止。子ども食堂の中止。
- ・子どもたちや親（保護者）が対象の行事をとりやめた。
- ・下関市放課後子供教室は3月から全面活動中止になっている
- ・平日においては、本来は午後からの営業であったところが、学校の臨時休業により、午前から行うことになった。

○会員、ボランティア、職員に関する不安

- ・東京出張などのあった会員の活動自粛
- ・障がいの特性でニュースなどから入る情報で不安拡大になったり、野外活動が制限されたりすると利用ができないお子さんがいる。最新の注意を図るための職員の精神的疲労や衛生面の在庫チェック。
- ・子育て中の職員への勤務時間配慮により、社会保険加入条件を越えた他職員の勤務超過。
- ・勤務している職員の家族が、緊急事態宣言地域への移動等あるものは感染リスクが高くなる事から勤務を控えるようになるため、保育士の確保が難しくなっている。今後は更に影響が出ると予測。
- ・感染者情報開示不足による職員の不安。
- ・感染者情報開示不足による濃厚接触者に該当するかもしれない職員の特定困難。
- ・高齢者事業の為、感染者情報開示不足による恐怖。

②必要な支援策について、具体的な内容をお教えてください。

○マスク、アルコールなどのグッズ

- ・マスク、アルコール食毒液（入れ物含む）
- ・もし可能であれば、茶話会運営を安心して行うための除菌スプレーとマスク
- ・食毒用アルコール等
- ・次亜塩素水
- ・消毒液の確保、体温計
- ・コロナ対策としてマスク、消毒液、紙コップ等の物資
- ・衛生用品等、必要な物品の提供
- ・施設の貸し館運営に必要なアルコール除菌液やマスク

○その他の物的支援

- ・子どもたちへの学習会、居場中止に伴う宅食サービスの食材
- ・休校中に開催している少人数（１０人程度）でのお勉強会でのお昼ごはんの提供
- ・企業からの物資提供
- ・物流がとまることが万が一あれば、大量のフードの調達に不自由が生じるかもしれない。

○金銭的な補償、融資、助成金など

- ・無利子貸付け、返済期限延期
- ・サービス向上のための資金
- ・無利子での借入れ
- ・中止になったイベントでの見込み収益に対して、少しでも支援して欲しい
- ・活動支援金
- ・各種活動資金
- ・寄付金を募りたい
- ・活動資金の支援があると助かります。
- ・減収分の補償
- ・支払いが発生しているが、NP0での融資には理事会開催が必要であり、時間がないため、個人での銀行融資を行った。しかしまだ損失が多く、人件費の支払ができないため、雇用関係の助成を受けたい。
- ・コロナウイルスの影響で予定されていた行事が中止された場合や、活動ができなかった場合、補助金や助成金の精算時に配慮してほしい。
- ・先生達の講師料など
- ・施設が休所になった時の収入の補償
- ・活動支援補助金（実地の活動が停止していてもホームページなどを充実させて情報提供するための資金）
- ・コロナ収束後イベント企画費等
- ・集客のためのイベント開催やパンフレット等の増刷

○制度、サービス

- ・ 契約や補償などに関する法的支援が必要。また、支援策などの情報提供も必要。
- ・ コロナウイルスに関する各センターの対応の共有
- ・ 支援は必要ない。資金や物資支援で活動を持続することはできない。
活動環境を維持、整備するための人的支援が必要になるかも。
- ・ 先日の運営委員会で小耳にはさんだ「ZOOM」の具体的な利用方法や留意点などについての講習会の開催または情報の提供（既に開催されたのかもしれませんが）

○その他

- ・ まだわかりません。
- ・ 収入が確保できない以上、両者の最低賃金が下がるなどの許可が欲しい。借金は返さねばならない。
- ・ 他県に較べると比較的被害は少ないのが幸いです。給食材料や行事等に使われる予定の材料が無駄になっているニュースをよく見ます。私達のように開所を余儀なくされている場所には必要かもしれません。情報を投げかけていただければ協力できることもあると思います。
- ・ 特になし

③その他、貴団体の活動分野における新型コロナウイルスの感染拡大に伴う懸念をお教えてください。

○事業活動ができない

- ・ 活動が出来ない
- ・ 集団での活動ができない
- ・ 観察会や自然保護活動など集団で行う活動が難しくなること。
- ・ 座談会・交流会が開催できない。
- ・ 派遣先の会場の広さ、時間。様々な準備作業の制約、打ち合わせ会場の状況。
- ・ 茶話会は3密の活動になるので、今のままでは再開できない。
- ・ サイクルツアーや各種イベント出向の延期もしくは中止。
- ・ 活動頂ける部員の招集、現地の活動ができない
- ・ この会がクラスターになり得ることへの不安。
- ・ クラスター環境。
- ・ 活動することによって感染拡大の原因になりはしないか
- ・ 心身に育ちにくさのある子どもたちの保護者の会であるため、感染が命の危険につながる可能性が高いことへの不安。
- ・ 室内のイベントのみならず、屋外でも不特定多数が集まるイベントが自粛となると、ほとんどなにもできない。
- ・ 決算に伴う通常総会等の各種会議の自粛
- ・ 活動の自粛

- ・活動場所の減少
- ・このまま公民館が借りれなくなってしまうと活動ができなくなる事。
- ・小学生が放課後に集まる居場所、遊び場活動なので活動内容に大きな制約がかかる
- ・活動地域が屋外のため、人との接触はなし。
- ・居場所活動は、こども達も楽しみにしているので開催すれば人が集まる事になるのですが、人との接触を避けることは困難なため、マスクや消毒液などを準備しておかなければいけないが、入手ができないので長期戦になると活動も危ぶまれる。

○会員のモチベーション

- ・活動が制限されることに伴う会員の関心度が低下しないか
- ・①活動に携わる会員の活動機会の喪失（活動意欲の低下）
- ②活動に関わる人の健康状態の把握（個人情報取り扱い）
- ③感染防止対策の徹底（現時点では明確なガイドラインがない）
- ④市内外の交流を促すような大きな活動ができない
- ⑤積極的な広報ができない

○景気

- ・まちに活気が無くなる
- ・飲食店や観光地の経営状態。
- ・イベント、会合など人と人との交流が停滞し、地域の発展を疎外する。地域活性化の事業プログラムの実行が遅れる。
- ・感染拡大対策による国民の外出自粛は、当地域に限らず、交通、宿泊、飲料業の消費額を減退させ、心理的な閉じこもり型消費行動に向かう。

つまり、生活必需消耗品、非常食料品の購買、子どもの学費・生活費が家計の重点となる。

弊社は地域交流サービスを主とするNPO法人の立場から、地区民が安全に暮らして行ける環境を手伝うため、法人活動に新型コロナウイルスの影響はあっても、収入減少にたいする資金的支援を求めるつもりはない。

但し、関係職員に新型コロナウイルス感染者が発生した場合、ほとんどの職員が濃厚接触者となり法人活動が休止となる。このような事態が起こるとサービス停止を受ける対象者の生活に支障が起こるため、この方々への交通移動支援、食事支援を国家に求めることになる。

○見通しが立たない

- ・感染者が見えないために、サービス利用の制限をどのように判断したらよいのかわからない
- ・活動の停滞
- ・自粛期間の長期化
- ・終息が見えないのでどこまで我慢をして活動自粛をしたらいいのかわからない
- ・店舗運営（飲食を伴う）をいつ休むか。の判断をすること。
- ・先の見通しが立たない。4月～5月頭頃まで休館の見通しだが、その先も不明瞭。
- ・終息時点が検討がつかないこと。
- ・年度変わりで、総会・記念行事が開けるか予定が立たない。

- ・ 一体、いつまで続くのか？ 予定も立てられない
- ・ コロナの終息の見通しが立たないので活動の見通しが不透明。講座などの募集をかけることに躊躇する。
- ・ 今後の活動に影響あり。計画ができない。
- ・ 終息のめどが立たないため、行事の実施などが計画たてられない。
- ・ いつまで自粛が続くのか。行事（多くの人が集まること）をいつ再開できるのか。
- ・ 200 人規模のイベント開催や、小学生対象のボランティア教室などの開催開始はいつごろになるか？
- ・ 2020 年度の活動計画が立てられない。（いつから OK なのか）
- ・ 月例会を計画していたので、いつ再開できるかが気になります。
- ・ 活動再開のタイミングが難しい。
- ・ 公演そのものが「密」を伴うので、どの段階で通常活動に戻れるか。

○感染に関すること

- ・ 新型コロナウイルスの早期終息
- ・ 新型コロナウイルスの終息時期と利用者の感染予防に対する自己管理意識
- ・ 人の命を考えない、感染社名公表を避ける会社経営者の増加と感染拡大。
- ・ 就活に動き回るわけにもいかないの、大変困っています
- ・ 確実な情報を段階的に踏まえて提示していただきたいです。「密」はだめといわれても、学童や保育園、私達のように障がいのお子様を預かる事業所では、外遊びもできず、室内では距離の取りようがないままの預かりです。「不安」しかありません。保護者も学校の終わりがなかったのに始めはあるの？ など？？？ばかりです。国に頼らず、行政や学校がきちんとした方針を打ち出し、保護者への説明をしていただきたいです。
- ・ 青少年育成の団体で、人が集まる事で感染を広げてしまう可能性があるため、活動を自粛している状態。学校が再開されたら、私たちの活動も実施しようと思っていますが、3密を避けて屋外での活動を多くしようと思っています。
- ・ 国が推奨されている事全て実施する。職業が医療従事者のため、感染拡大防止に努めている。
- ・ 子ども（保護者 学校など）に関わる活動なので、感性が落ち着くまで活動できない。今は、感染を拡大しない為、自粛して、できるだけ早く通常の状態に戻すことが最優先。
- ・ 不特定多数の人が訪れるセンター業務も受託しているので職員の感染がないか気になる。
- ・ スタッフがそもそも健康人・健常者ではないので、最悪の場合は命にかかわる事態になるメンバーが出るかもしれない。中核メンバーが罹患したら法人が崩壊します。
- ・ 介護職員によるコロナウイルス持ち込み。
- ・ 今の所、岩国市及び錦町に感染者がいないので楽観してますが、1人でも発生すると大事に至ることは必死です。
- ・ 活動主体が高齢であるため、万一感染が広がると活動が消滅する恐れあり。
- ・ どこで誰が罹患しているかはわからない。媒体になるかもしれないため、施設内でスタッフの負担が大きい。この状況で休校中の子どもの動向を把握しないまま学校が開校されることが、更なる不安につながる。県域すべてから来所される施設としては、閉鎖せざるを得ない。

○助成事業ができない

- ・助成金事業の延期または中止
- ・計画している事業の中止により申請中の補助金が支給されない懸念
- ・今年度の受託業務を平常通りを想定した内容で契約している（県との契約2件）。契約通りに実施できないことが想定されるが、契約書には実施内容変更のための手続きやコスト、業務縮小に伴う補償の有無を書くかどうかなど、県としての方針がわからない。また影響が今年度だけで済むのか。

○収益減

- ・5月以降、企画イベント中止となった場合の経費および収益減少、施設閉館による貸館使用客減少による収入減少
- ・ギャラリー—展示会や子ども歴史教室、高校生授業、部活動の支援など一定数の参加者を予定する活動ができないと、主要活動が停止し、これが長引けば、活動を支える会員（会費）や寄附の減少も懸念される。
- ・資金を得るものがなくなると、生活できなくなるので不安
- ・一部事業の中止や延期のため、収益の見通しが立たず資金不足に陥るのではないかとということ。会員への十分なサービス提供ができなくなること。
- ・観光ボランティアガイド団体のため、観光業の落ち込みと共に申込も減じている。
- ・終息するまで会員の体力（資金等）がどこまでもつか
- ・萩博物館の休館が長引いた場合の会員への休業補償。
- ・傷害保険の適用がない。

○会員、ボランティアへの負担増

- ・学校休校措置明けの相談の急増など。
- ・受注施設内作業量の減少傾向

○今後の計画

- ・団体の目的である「防災」にウィルス対策も関連付けると、出水期を迎えるにあたってどう啓発や支援ができるのかを考えていかななくてはならない。
- ・中止による代替事業の企画。
- ・今後の収入減の継続による事業費全体への影響、イベント・講座開催などのあり方の変更
- ・密着した環境を作らないことへの対応に苦慮している。指導はマンツーマン指導となるので、対応方法を工夫する必要がある。
- ・当初活動計画がこのままでは、実行できないとおもわれる。
- ・今後、行う予定のイベント開催も危うい

○感染した場合の対応

- ・①総会の開催方法の検討 ②もし、当法人で感染者が出た場合の不安と対応
- ・利用者、職員が感染した場合の事業所の休業
- ・介護職員が感染した場合の職員不足。他職員超過勤務。過労。

- ・A 職員により B 職員が感染し、その親族が死亡した場合の補償。A 職員により B 利用者が感染し、死亡した場合の裁判等。
- ・当園関係者内での感染による休園になった場合の対応あるいはスタッフ不足により運営が厳しくなるなど

○サービス停止による利用者への負担

- ・子どもたちやお母さん達と会う機会が少なくなるので、家庭内の状況把握が難しくなっています
- ・感染拡大による営業の停止。そのために発生する利用者さんの不便と収益の減少。
- ・70歳以上の高齢者を対象にしているサロン風会食サービスですから、高齢者の感染を予防するため中止していますが、長期になると、高齢者が家に閉じこもっているのには、精神面・健康面に影響が及ぶので版と心配しています。
- ・弱者である会員や、支えていただいているヘルパーさんの健康状態が一番懸念される。
- ・利用できない方（親子）のストレス
- ・茶話会をストレス発散の場にされている常連さんもおられるので、現在鬱々としていないか気になっている。
- ・学校の休校の長期化やこども食堂の開催自粛による支援対象となるこどもの増加、収入の減少による生活困窮世帯の増加

○その他

- ・基本的には野外又は、密集してやる活動ではないので、特に懸念はない
- ・特に懸念することはないが、活動拠点の市外からお越しになるボランティアさんをお断りする場合があることに申し訳なく思う。
- ・終息に向け、国全体で取り組む姿勢を早く見せるため、今回の緊急事態に関する改正法を早く活用して、国民の行動が全員終息方向に向くよう、政府・国会・都道府県が一体となる姿勢を見せ、国民にアピールし、戦後失われた、人を助ける心を取りもどすきっかけを、この際作りましょう。
自分さえ良ければ良いという、人としての魂喪失を味わっている戦後の日本国民の苦悩をこのウイルスと考えて、日本から世界へ人を思う心を広げましょう。古くから日本人が培ってきた思いやりの心自然に親しむ心そして何よりも世界の平和を願う「かみほとけの心」を取り戻すチャンスと捉え全国民が行動しましょう。
- ・例年どおり、地域の花は咲き、草も伸びている。学びの郷づくりの事業は例年どおり行い、活用事業はコロナウィルスの終息をじっと待つしかないでしょう。
- ・特になし